

小さく早く生まれた赤ちゃんの特徴

生まれた時の体重が2,500g未満の赤ちゃんを低出生体重児、1,500g未満を極低出生体重児、1,000g未満を超低出生体重児といいます。また、予定日より早く生まれ、お母さんのお腹の中にいた期間が37週未満の赤ちゃんを「早産児」といいます。

脳

血管にもろい部分があつたり、血流調節が未熟なことがあります。

感染

お母さんから十分に抗体をもらっていないため、感染に弱い傾向があります。

心臓

胎児期には開いている動脈管がなかなか閉鎖しないことがあります。



血液

黄疸が進行しやすかったり、貧血になることがあります。

体温

体温調節が未熟で低い体温になりやすいです。

肺

肺が膨らみにくく、呼吸が速かったり皮膚の色が悪いことがあります。

小さく生まれた赤ちゃんに起こりやすいこと

小さく生まれた赤ちゃんたちは、さまざまなハードルを乗り越えながら大きくなっています。赤ちゃんによって経過は違うため、ここで説明していることが必ずしも起こるわけではありませんが、赤ちゃんのことを考えて不安や心配になってしまうこともあると思います。

NICUスタッフはできるだけのことをして、赤ちゃんとママ・パパを応援しています。大切な赤ちゃんのことを、医師や看護師と一緒に話すことで、ママとパパの不安や心配が軽くなることもありますので、気になることは何でも聞いてみることをお勧めします。

1. 呼吸窮迫症候群（こきゅうきゅうはくしょうこうぐん）

早産の赤ちゃんには、生まれて数日間、肺を膨らませるサーファクタントという物質が産生されない状態になり、呼吸がうまくできないことがあります。人工のサーファクタントを肺胞へ投与（注入）することで治療します。

2. 未熟児無呼吸発作（みじゅくじむこきゅうほっさ）

早産の赤ちゃんたちは、呼吸を時々休んでしまうことがあります。呼吸を再開するのが難しい場合には、体の中の酸素濃度低下や心拍数低下が起こります。人工呼吸器や予防するお薬で呼吸を助ける治療をします。

3. 慢性肺疾患（まんせいはいしつかん）

赤ちゃんの治療には酸素投与や人工呼吸が必要ですが、未熟な肺の組織は長期の高濃度酸素や人工呼吸によってダメージを受けやすもあります。ダメージが強い場合や修復力が弱い場合には長期の酸素投与や人工呼吸が必要な、慢性肺疾患という状態になることがあります。

4. 脳出血（のうしゅつけつ）

脳の血管の発達が未熟なため、生後5日頃までは脳内に出血を起こすことがあります。小さな出血は後遺症とはあまり関係ありませんが、大きな出血などは後遺症の可能性もあります。

5. 未熟児網膜症（みじゅくじもうまくしょう）

早産児では、眼の網膜血管の発達が未熟な状態で生まれ、生後、網膜の血管の発育がうまくいかないことがあります。治療としては、一般的に網膜レーザー療を行います。

SGA (small for gestational age)

SGAとは、「お母さんの妊娠期間に応じた本来の大きさよりも小さく生まれること」を意味しています。成長曲線に沿って大きくなっているかを曲線に記録していきましょう。SGAで生まれ、3歳での身長が基準より小さい場合には検査を行うこともあります。検査の結果、成長ホルモン補充療法の適応となる場合がありますので、主治医に相談してみましょう。

小さく早く生まれた赤ちゃんの発達の特徴と対応 Q&A

6. 未熟児動脈管開存症（みじゅくじどうみやくかんかいぞんしょう）

赤ちゃんは子宮内では動脈管という血管を経由して、お母さんからもらつた酸素を体に送っていました。生まれてからはこの動脈管は必要なくなり自然に閉じますが、早産児では自然に閉じない場合があり、心臓や肺に負担がかかります。薬や手術で治療します。

7. 壊死性腸炎（えしせいちょうえん）

腸管組織への血流減少と細菌感染症が重なることで、腸管組織が壊死してしまう病気です。発症した場合は、抗生素などのお薬で治療します。重症な場合には手術を必要とすることもあります。

8. 感染症（かんせんしょう）

細菌などが体に悪影響を起こしている状態を感染症と呼びます。早産児は細菌から体を守る免疫力が未熟なため感染症が起こりやすくなっています。治療のためのチューブや点滴のカテーテルが入っていることも感染症の原因になります。感染した場合は細菌などに対する抗菌薬での治療が基本になります。免疫力を補うための血液製剤を投与することもあります。

9. 未熟児貧血（みじゅくじひんけつ）

赤血球を作る力が未熟であることや、赤血球を作るための材料となる鉄が体内で欠乏しやすいため、早産児は貧血になりやすい状態です。薬や注射で治療します。貧血が進行した場合には輸血を行うこともあります。

10. 未熟児くる病（みじゅくじくるびょう）

早産児は骨を作るために必要なカルシウム、リン、ビタミン D などの栄養が不足しがちです。不足が続くと骨の形成が遅れることもあります。お薬などで栄養を補充していきます。



予防接種について

予定日よりも早く生まっていても、生まれた日からの換算した月齢（暦月齢）で予防接種を始めるのが原則です。生後 2 か月以降で赤ちゃんの状態が安定しており、担当医が予防接種可能な体重であると判断した場合には、NICU 入院中に始めることもあります。詳しいことは、担当医に聞いてみましょう。



Q 入院中は授乳時間ごとにミルクを飲んでいたのに、退院したらミルクを残してしまったり、授乳間隔も一定ではなくなってしまいました。たくさん飲んで大きくなってもらいたいので心配です。

A

授乳量にムラが出てくるのも成長のしるしです。赤ちゃんの機嫌がよく、おっぱいやミルクを元気に飲めているようであれば大丈夫です。心配な場合には、健診や育児相談で体重の増えを確認してもらい、医師や保健師などに相談してみましょう。



Q お座りがなかなか出来なくて、心配です。

A

赤ちゃんは頭が大きく、特に低出生体重児は頭部が大きく体が華奢なことが多いため、不安定になりやすくお座りや抱っこで常にお母さんが支えていることが多くなりがちです。うつ伏せやよつばいをすることで、次第にお座りに必要な力が出来てきますので、うつ伏せで遊んであげましょう。



Q ごはん（離乳食）をなかなか食べてくれません。

A

小さく生まれた子どもには、小食のことがよくありますが、年長以降になると心配なくなることがほとんどです。小食の場合は時間をしっかりと決めて 4 回食にしてみることもよいでしょう。好き嫌いが出てくるのは発達の証でもあります。中には触感やにおいなどが敏感なために食べられなかったり、飲めなかったりするものがあります。無理強いさせず、細かくして混ぜたり、一緒に準備をしたり、自分から食べられる工夫をすることが大切です。



Q 走れなかったり、転びやすかったりと、運動がうまくできないのですが大丈夫でしょうか。

A

筋力やバランスの発達がゆっくりと進むので、走ることや遊具で遊ぶことなどが上手くできないことがあります。運動が上手くできるためには自分の身体について知り、自由に動かせるようになる必要があります。毎日行う着替えや靴の着脱、食事の時の道具の操作などで発達が促されます。ただし、なかなか直らない時には、治療が必要な場合もありますので、受診や健診の際に相談しましょう。



写真を貼ったり、先生の話をメモしたり、ご自由にお使いください。



カンガルークラブ福井

～NICU・GCUに入院中・卒業したママのつながりの場～

突然の出産、長い入院生活、退院後の育児など、
同じ境遇だからこそ分かりあえることが沢山あります。
初めて同じ境遇のママとお話しした時、安心感から涙が溢れてくれました。
“ひとりじゃないよ”先輩ママと一緒に気持ちを共有しながらお話ししてみませんか？

TEL : 0770-24-7517

子育て支援拠点 “おやこきらりんひろば” が窓口です。

インスタ : kangarooclub.fukui



KANGAROOCCLUB.FUKUI

定期的におはなし会を開催中

- ・毎月1回、嶺南・嶺北の2会場で集まっています。
- ・1回だけの参加もOK！
- ・まずはお電話もしくはインスタへDMください



※10~59ページ下段のメッセージは「カンガルークラブ福井」や福井県内の先輩ママパパ、
ご家族から頂いたものです。妊娠期間・お子さまの出生体重・発行時の年齢を記載しています。

【参考・引用】

しづおかリトルベビーハンドブック
(静岡県健康福祉部こども未来局子ども家庭課母子保健班 平成30年3月)

なごやリトルベビーハンドブック
(名古屋市子育て支援課 平成31年4月)

ひろしまリトルベビーハンドブック
(広島県健康福祉局こども未来応援課 令和3年3月)

【作成・編集】

福井県健康福祉部こども未来課
(令和5年3月発行)

表紙デザイン Baby & Kids Art 境田やす江
・小さい恐竜には県内リトルベビーの生後7日目の手形を、
大きい恐竜には7歳の時の足形を使用しています。
見つけてみてくださいね。

アンケートのお願い

よりよいリトルベビーハンドブックにしていくため、利用された方のアンケートを実施しています。下記のQRコードからアンケートに御協力ください。

*受け取った時や使っている時など、
何度もお送りください*

